

陽転思考

福島伸悦

陽転思考という言葉がふと目に留まった。これもご縁なのかもしれない。調べてみると故松下幸之助氏の教えであることが分かった。人生は思い通りにならないものであるというのがお釈迦様のお悟りです。一生懸命頑張ったとしてもその結果は必ずしも自分の思い通りにならないものです。そこで、出てきた結果を全て受け止めることが出来るかどうかです。悪い結果だと自分ではなく何か他のものに原因があるように思いたいものです。でなくて、その結果を全て素直にあるがままに受け止めることが出来た時、何物にもとらわれない絶対の自由が獲得できるというのが真の「陽転思考」の極意という事です。つまり、悪い結果でも、それは天が自分与えた成長する試練だと感謝して後ろ向きにならないことです。

松下幸之助氏は、採用試験では必ず自分は運がいいかどうかを聞き、運が悪いと答えた人は採用しなかったという事です。松下氏は、自分の経験から運がいいと信じた人だけが自らの道を切り開くことが出来るという考え方を持っていたのだと思います。陽転思考とは、絶望したり苦しんだりした時にそこから逃げるのではなく真正面からその状況を受け止めて、陽の方向性に導くというものです。一つの事実があっても、その見方は一つではありません。プラスに考えてもマイナスに考えても起こった事実が変わらないのであれば、プラスに考えた方が人生はうまくいくはずで

自分の人生を振り返ってみると、何か起こっても色々な出会いの中で色々な人たちに助けもらったことがたくさんあります。いつも自分は幸せ者で運がいいと思っています。何か大きなものに支えられている自分がいて、物事を明るく肯定的に考えることができるのも人生を楽しく送るコツなのかもしれません。